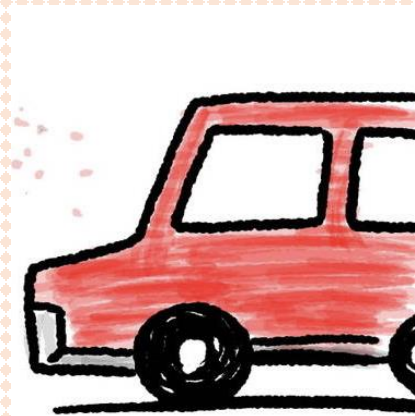


ロードキルを防ぐ

千葉県立長生高等学校 ロードキル対策チーム

平本詩音 北根孟実 (2年)

渡邊雄太 瀧口和都 上田柊翔 (3年)



研究の目的

ヒトと野生動物の調和を保つために、ロードキルを防ぎたい。

[局所的な対策も大事だが、広い地域を見据えた対策を考えることも重要]

調査・分析 全体の流れ

- (1)4月～5月に千葉県市町村に問い合わせ得られたデータ(前年度)を分析。
- (2)情報の保有状況、自治体内の情報へのアクセスのしやすさをまとめる。
- (3)期間、生物種、場所などがわかるか、情報の質をラベリングする。
- (4)同じ質の情報を統合し、分析する。
- (5)分析から、広域的なロードキル対策を考える。

ロードキル対策チーム

[昨年度発表では]

- 種を分けない年間総発生件数比較
→人口と比例していない(右図)
- 種別件数では、**猫・鳥・狸が多い。**
- 種別・月別を**猫と狸**に絞って分析
→**繁殖期と親離れ時期に増加。**
- 高速道路でも壁がない(柵の)路線
→一般道路と同様に狸等に被害

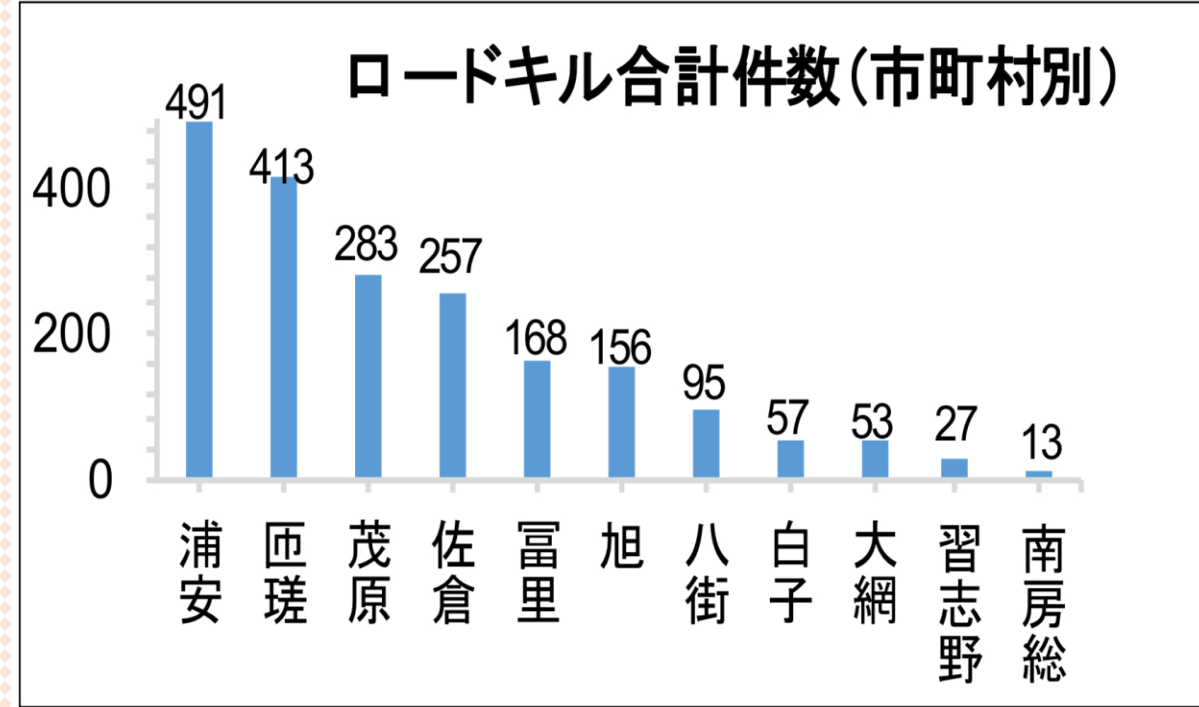


図1 令和2年度市町村別ロードキル件数

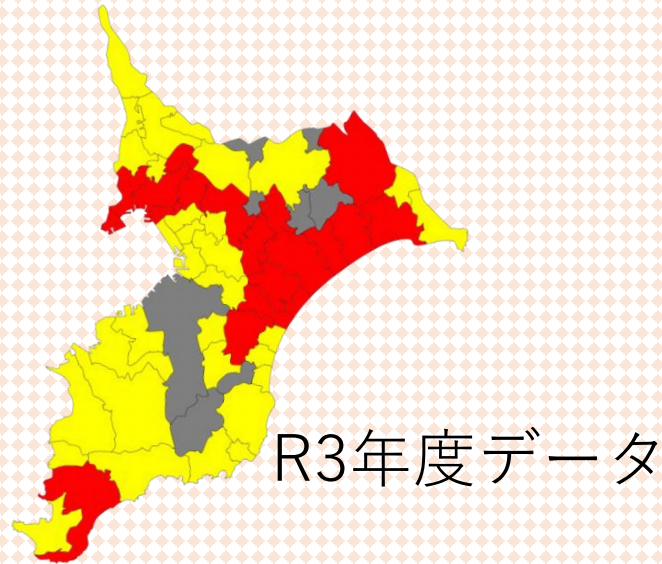
**令和3年データをまとめ、昨年度(令和2年データ)と比較する
事でより深い分析にする**

分析① データへのアクセス(4月から1ヶ月以内)

※自治体HPの問い合わせフォームを利用 5月までの返信についてまとめた

- データあり
- データなし
- 返信なし

R2年度データ



R3年度データ

データはあるはずだが、
情報提供の早さが異
なった。

分析② 市町村別データの質を分類



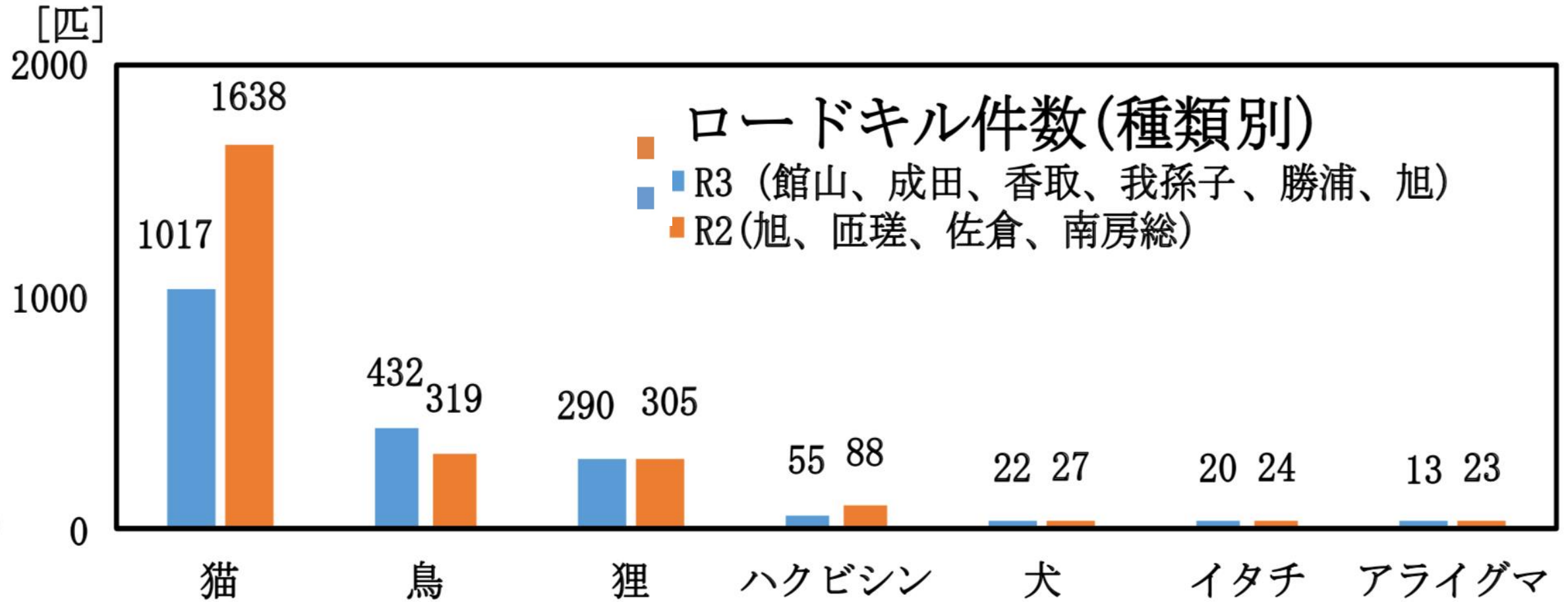
	内容
A1	月別・種別でわかる
A2	月別・種別 (欠損あり)
B1	年間・種別でわかる
B2	年間全体件数のみ
C	対象年度とは異なる

A1データに1ヶ月でアクセスできた自治体	
令和2年度分	令和3年度分
旭市・匝瑳市・ 佐倉市・南房総市	館山市・成田市・ 香取市・勝浦市・ 旭市・我孫市

昨年A1でも、今年B1に
なるなど対応が変わった
自治体があった

年度で分類が変わる自治
体は、定まった集計様式
がないと推測できる。

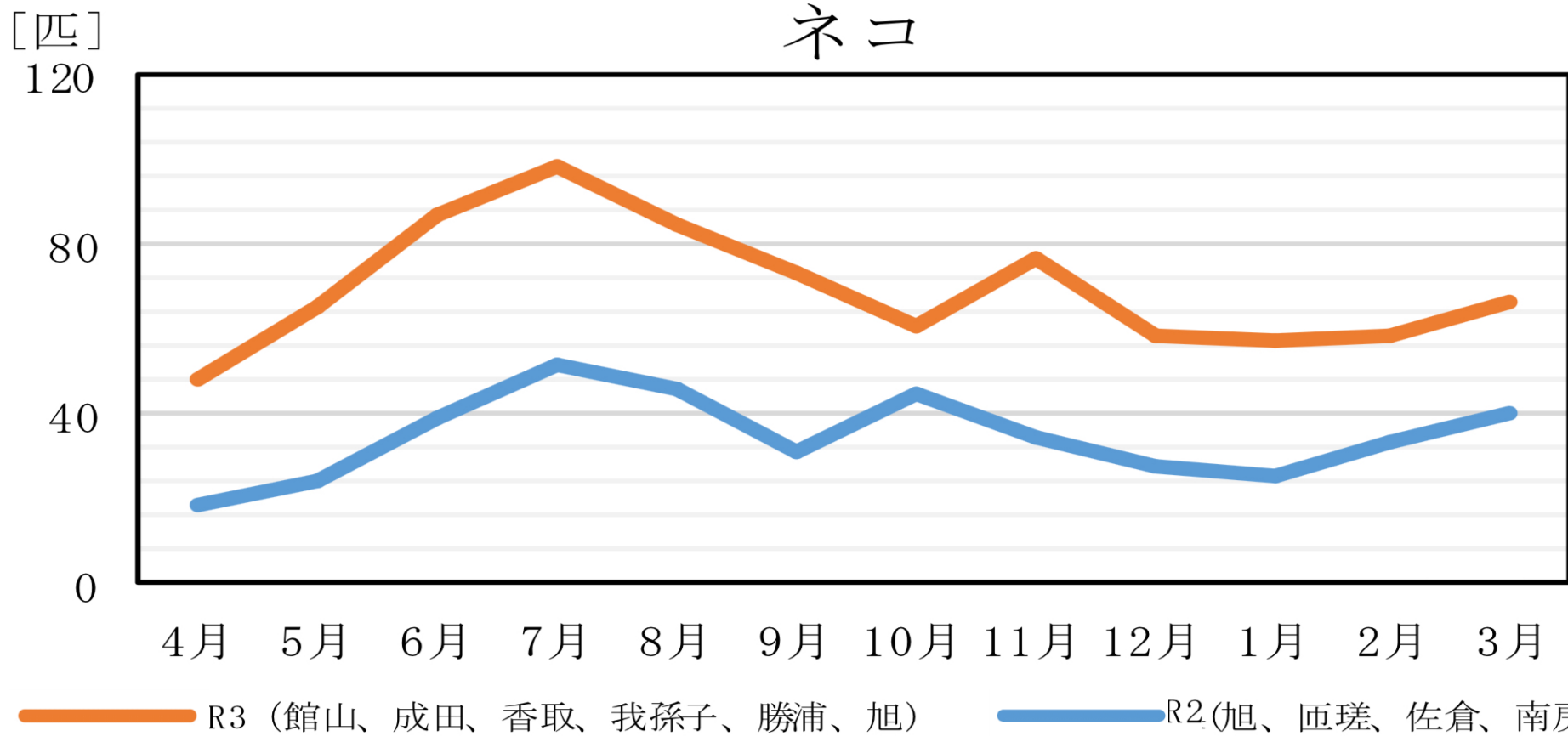
分析③ 種別年間件数比較(B1以上より)



昨年度同様の傾向。猫が突出して多い自治体があった。

B1以上の分類方法で再現性を確認。

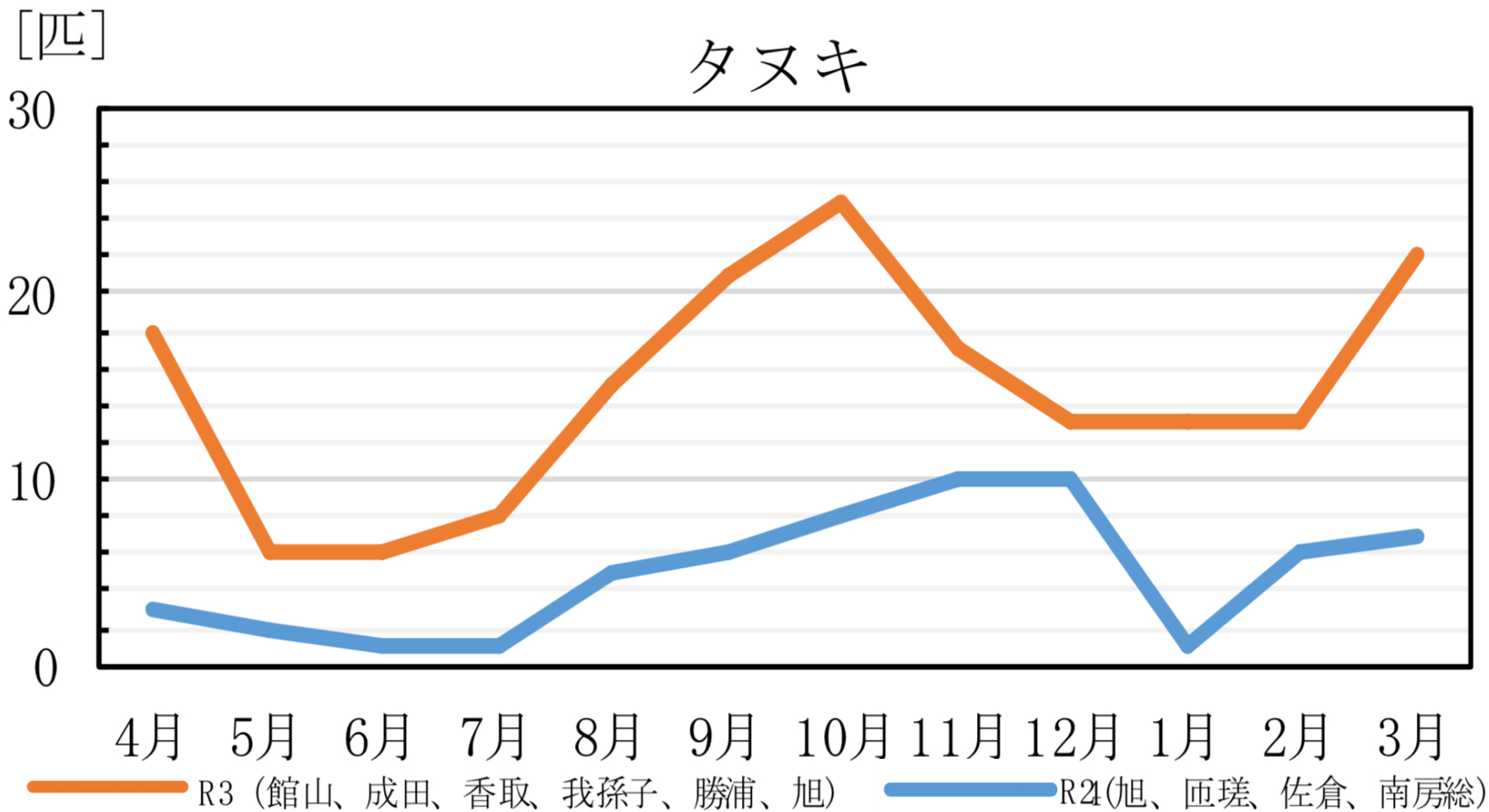
分析④種別・月別 件数分析 (A1データのみ)



月別平均気温		
月	R2	R3
4	13	14.3
5	19.4	19.3
6	23	21.9
7	24.6	25.4
8	28.4	27
9	24.4	22.2
10	17.2	17.7
11	13.8	13.3
12	7.1	7.5
1	6.9	5.2
2	8	8.3
3	10.8	12.2

発生件数ピーク：7月、10月、11月（秋）、3月

別年度でも同様の傾向。秋ピークのズレは気温差と関係なし



7月以降増加し、秋冬にピーク。その後下がり春に再びピーク

ピークの傾向は似るが、秋のピークのズレは？

ネコはR3で遅く、狸はR3で早くなった。気温差由来では無いとしたら・・・

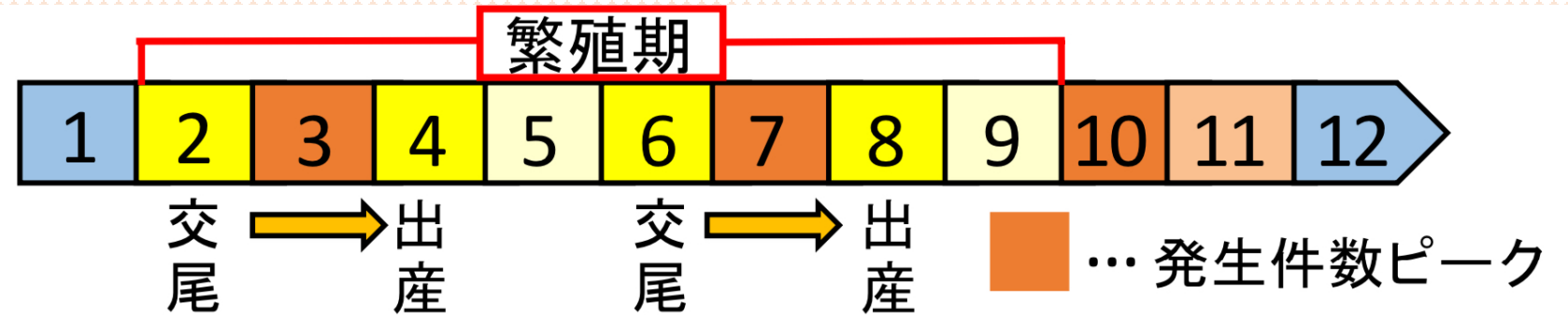
- ①A1データの市町村が変わったため？ ②生物の行動が変わった？

文献調査より

【考察1】

ネコの繁殖期

年2回の出産
→R3は後半の出産・
親離れが遅くなった？

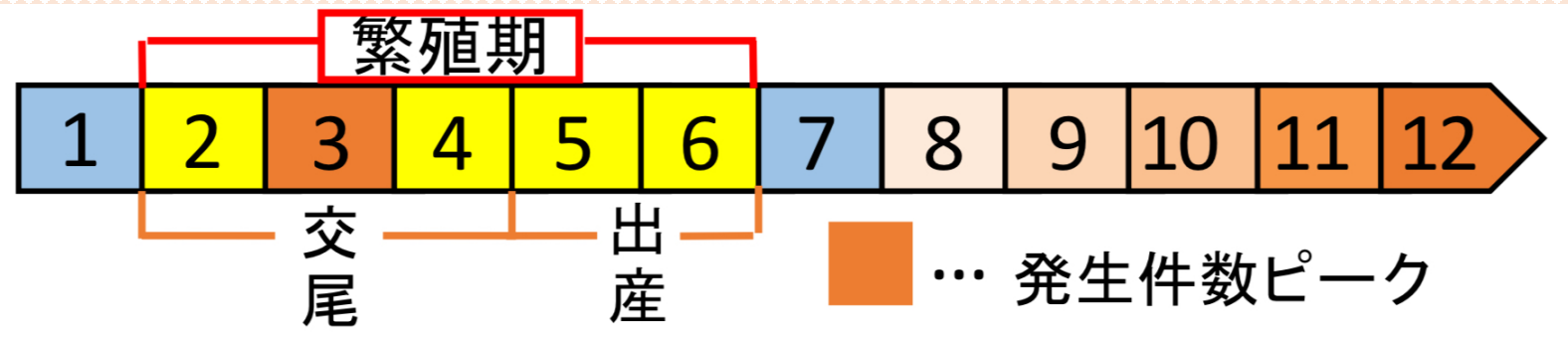


- ① 繁殖期が長く、またピークが2つ
 - ② 出産後に離乳した仔猫が10月のピーク原因か？
- 仔猫は生後3か月で離乳開始、生後6か月で完全離乳※1
↳ 4月に出産→7月頃に離乳開始
7月に①と②が重なる=発生件数最多？

【考察2】

タヌキの繁殖期

年1回の出産
→R3は出産・親離れが早
くなった？



- ① 交尾期にやや多く、出産期は少ない。
 - ② 出産後に離乳した仔狸が秋ごろのピーク原因か？
- 仔狸は生後1か月ほどで完全離乳※2
↳ 8か月前には離乳開始
【考察1・2より】交尾期、親離れで被害が多い？

次年度データと合わせて
今後の検証が必要

まとめ

[4～5月の2ヶ月間で得られたデータ]

年度当初の繁忙期？ 年によって対応が変化。

[同一自治体でもデータの質が年によって変化]

記録様式がない？ まとめる手間が大変。

[生物の習性との関係]

月別、種別に分けられたデータ（A1）を統合すると、
大まかに習性と発生時期の関係について考察できる。

[令和2年度と令和3年度データの再現性]

B1以上でおおまかな再現性は確認できた。

提言

詳細な分析ができるデータが集めにくい

①集計のための統一した様式（入力用ファイル）の開発と普及が必要では

種ごとの習性でロードキルが発生しやすい時期がわかる

②人に対する交通事故防止キャンペーンと同様にピーク時期に
ロードキル防止キャンペーンを行うことは可能か？

カラスによる遺体持ち去り等、自治体が把握しきれないもの

③実際の発生件数把握には報告について地域の協力が必要。

参考文献・謝辞

〈参考文献〉 (1)猫の繁殖期について知ろう (2)タヌキ

〈謝辞〉 データを提供していただいた千葉県内の各自治体の皆様に感謝いたします。